

日本は、寒いことでしょうか。お元気にお過ごしでしょうか。こちらは、雨の日は肌寒くなりますが、晴れた日は強い日差しが照っています。今回の短信は今年に入って初めてのもですが、私たちの働きの成果の一端を写真でご紹介いたします。

* * *

3人の洗礼について

アタナジィが受洗した経緯は、前回の短信で触れましたので今回は言及しませんが、バレンティンの母は、昨年11月に洗礼を受けました。彼女は、歩行が困難であったことと、左腕が不自由でしたが昨年約半年間、街の病院でリハビリを受けました。それが功を奏して、可動域が広がり、教会へも自力で行けるようになりました。今ではムイギシャを抱くことができます。

バレンティンの従妹である16歳のシム工は、昨年の5月より妊娠中のバレンティンに伴ってセンターへやって来ました。妊娠中から、出産後、今に至るまでバレンティンを助け、買い物や食事の支度、ムイギシャの世話など行っています。今年の1月14日、アタナジィと共に受洗したシム工は、バレンティンの信仰に触発されたのですが、そのバレンティンの信仰には大きな波がありました。バレンティンの信仰は、支援によって保持し成長できたと言えます。

アタナジィ、バレンティンの母、シム工と受洗に至った経緯は三人三様ですが、共通しているのは直接的・間接的に支援が影響していることです。ひとりの人の人生が変わる、生き方が変わることは、決して小さなことではありません。それに関与できたことの幸いと喜びを感じています。

子供たちの成長やジェロームの治療は、どれも皆様のご支援によって可能でした。感謝を申し上げます。どうぞ続けてお祈りとお支援をお願い致します。

もう一つお願いです。5月から6月にかけて帰国し、報告会を開きたいと考えています。今年は、特に西日本を中心に訪問をしたいと考えています。教会や学校などで報告会が可能であれば、「竹内緑を支えるルワンダの会」または直接竹内緑（メールで）までお知らせくださるようお願い致します。

それではどうぞ、お元気でお過ごしくださいますように。

2017年2月20日

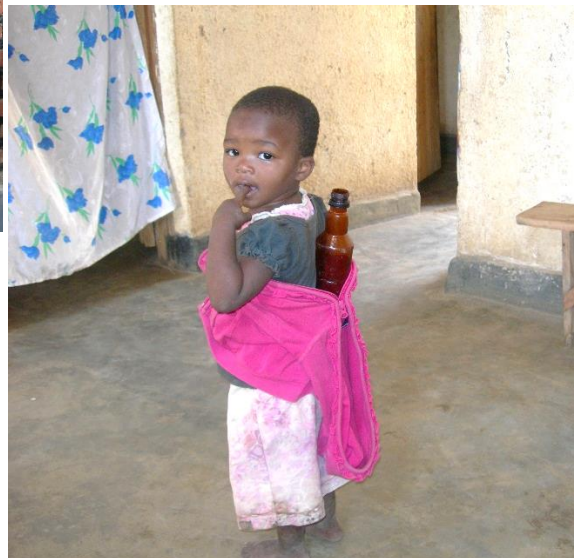
竹内 緑

こんなに大きくなりました！



←生後5か月のムイギシャ

体重が6.5キロ、立って足踏みをするようになりました。母である、バレンティンと瓜二つで、小さなバレンティンと呼ばれています。



2歳になったベラ（アタナジの三女）→
乳児期から栄養失調でした。そのためか現在もやや小柄ではありますが、元気に成長しています。背中の空き瓶は、赤ちゃんに見立てて、ベラが赤ちゃんをおんぶしているところです。廃品は不用品ではなく、おもちゃに変身…です。

こんなにきれいになりました！



ジェローム

昨年の12月、熱傷を負ったジェロームですが、きれいに治りました。



私たちは、受洗しました。



アタナジイ



バレンティンの母（写真左）、バレンティンの
従妹・シムエ（写真右）